

点  $(0, p)$  から直線  $y = x - 1$  に下ろした垂線の足を  $Q$  とする。ただし、 $p \neq -1$  とする。

ア. 点  $Q$  の座標を求めよ。

イ. 点  $Q$  と点  $(0, p)$  との距離が 2 になるときの  $p$  の値を求めよ。

(20 豊橋技科大 2(1))

【答】

ア.  $Q\left(\frac{p+1}{2}, \frac{p-1}{2}\right)$

イ.  $p = -1 \pm 2\sqrt{2}$

【解答】

ア. 点  $(0, p)$  を  $P$  とおく。点  $P$  を通り直線  $y = x - 1$  に垂直な直線の方程式は  $y = -x + p$  であり、これらを連立すると

$$x - 1 = -x + p$$

$$\therefore x = \frac{p+1}{2}$$

であり、求める垂線の足  $Q$  の座標は

$$Q\left(\frac{p+1}{2}, \frac{p-1}{2}\right) \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

$$\begin{aligned} \text{イ. } PQ &= \sqrt{\left(\frac{p+1}{2}\right)^2 + \left(\frac{p-1}{2} - p\right)^2} \\ &= \sqrt{\left(\frac{p+1}{2}\right)^2 + \left(\frac{-p-1}{2}\right)^2} \\ &= \frac{|p+1|}{\sqrt{2}} \end{aligned}$$

であるから、 $PQ = 2$  となる  $p$  の値は

$$\frac{|p+1|}{\sqrt{2}} = 2$$

$$\therefore p = -1 \pm 2\sqrt{2} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- 点と直線との距離の公式を用いて

$$PQ = \frac{|0 - p - 1|}{\sqrt{1^2 + (-1)^2}} = \frac{|p+1|}{\sqrt{2}}$$

を得ることもできる。